

令和 8 年度新規採択希望

県営土地改良事業 計画概要書

農業競争力強化農地整備事業 (農地整備事業)

梅檀野東部地区

目 次

第 1 章	目的	・ ・ ・ ・ ・	1
第 2 章	地域の所在及び現況	・ ・ ・ ・ ・	1
第 3 章	基本計画	・ ・ ・ ・ ・	2
第 4 章	工事又は管理の要領	・ ・ ・ ・ ・	3
第 5 章	費用の概算	・ ・ ・ ・ ・	3
第 6 章	効用	・ ・ ・ ・ ・	4
第 7 章	他の事業との関係	・ ・ ・ ・ ・	4
第 8 章	計画概要図	・ ・ ・ ・ ・	4

第 1 章 目的

本地区は、砺波市の東部に位置し、地区の西側を流れる一級河川庄川によって形成された砺波平野の芹谷野河岸段丘にある。市内の大部分は農地であり、そのほとんどが水田であることから、古くから稲作を中心とした農業が行われている。水田の畑利用としてカンショ、タマネギ等を組み合わせた複合経営が展開されている。

本地区の農業生産基盤は昭和 50 年～56 年にかけて梅檀野地区（団体営ほ場整備事業）で整備され、約 50 年を経過しており、用水路において摩耗・破損や水路目地部の欠損等の老朽化により漏水が著しいことから水管理に多大な労力が必要となっている。さらに水稻の中干しや稲刈り時の落水がうまく行えず、コンバインによる稲刈り作業によりほ場の泥寧化を招くとともに排水不良化となり、スムーズで効率的な農作業の支障となっている。

また、昨今農業生産費の低コスト化が求められていることから、ほ場の大区画を推進することで、より効率的な農作業が行える生産基盤の整備により、担い手の農業経営の安定化を図ることが求められている。さらに、ほ場地表水の排水性が悪く、カンショ、タマネギ栽培において排水性確保が困難な状況で栽培を行っており、これを解消するため暗渠排水工を行う必要がある。

このため、本事業により、農業用排水施設の機能を回復するとともに、一部ほ場の大区画化と管排水路化を図り、効率的な農作業を行うことにより生産の低コスト化と草刈り等の維持管理の軽減を図る。併せて、担い手への農地集積を促進することで農業経営の効率化・安定化を図る。

第 2 章 地域の所在及び現況

1. 地域の所在

(1) 所在地 砺波市 福岡、宮森新、頼成新

(2) 受益面積 A=30.8ha 地目 田

2. 現況

(1) 地形

本地区は、富山県西部を南北に流下する一級河川「庄川」右岸の河岸段丘梅檀野に位置する標高約 83m から 70m の間にあって自然勾配 $I \approx 1/10$ 河岸段丘、0～1/200、平均 1/150 である。

(2) 地質

土壌は、灰色土壌粘土マンガン型、黄褐色土壌強粘土型、黄褐色土壌粘土型となっている。

(3) 水利状況

・用水状況

本地区の用水は、一級河川庄川を水源とした、芹谷野用水路にて地区内を灌漑している。地区内用水路は耐用年数が過ぎており老朽化が著しいことから、水管理等の維持管理に多大な労力と経費を要している。また、用水路からの漏水により農作業に伴う泥濘化等により営農活動にも支障を生じている状況にある。

(4) 営農状況

本地区の営農状況は、水稻を中心とした水田地帯で、地区内5の担い手（農業生産法人・認定農業者）により、約6割の営農を営まれている。しかしながら、一部農地では自己完結型農業が営まれている状況にある。今後、農業従事者も高齢化が進む中、労働力不足が懸念されるため、担い手への農地集積を積極的に進め、効率的かつ安定的な農業経営の確立に努めているところである。

(5) 地域環境

本地区は、砺波市の東部に位置し、地区の西側を流れる一級河川庄川によって形成された芹谷野河岸段丘にある。砺波市は散居村の美しい田園風景が広がる自然環境に囲まれている。「砺波市農村環境計画」では、安全で安心して暮らせる快適な農村環境を実現するため、散居村に代表される豊かな環境の保全や、自然との調和、芹谷野段丘や梅檀野の豊かな自然景観及び里山景観の保全に努めるとともに共生に配慮した整備を進めることとしている。

第 3 章 基本計画

ほ場整備後約50年を経過した農業用排水施設が更新時期を迎えており、担い手による効率的で安定的な営農活動の実現に支障となっていることから、本事業により生産基盤の再整備を行うものであり、基本計画は次のとおりである。

1. 地区内用排水路工

現況の用排水施設は経年変化による老朽化のため、営農に支障となっている地区内用排水路を改修し、営農条件の改善を行う。

2. 区画整理工、暗渠排水工

生産基盤の改修・改良により、営農効率を向上させるとともに、担い手への農地集積をさらに促進させ、効率的で安定した農業経営の継続と発展を図っていく。

3. 環境配慮

本地区は、「砺波市農村環境計画」における良好な農村環境、生産環境向上エリアに設定されている「緑と水辺の調和ゾーン」に位置付けられており、生物にとって良好な生息環境が保たれるよう、生物の生息に配慮した施設を設置する。工事施工時は、濁水流出防止や低騒音型建設機械を使用し、周辺環境への影響が軽減されるよう配慮することとする。

第 4 章 工事又は管理の要領

1. 工事の概要

(1) 農業生産基盤整備事業

工 種	数 量	構 造
用排水路施設	4,900 m	ジョイントベンチフリーム等
区画整理	3.5 ha	
暗渠排水	0.9 ha	

(2) 工事の着工及び完了(予定)

着工 令和 8 年度
完了(予定) 令和 14 年度

2. 管理の要領

(1) 管理者

砺波市土地改良区

(2) 管理すべき種類

本事業で造成された用排水路、その他付帯施設

第 5 章 費用の概算

総事業費 650,000 千円

(参考) 農業法人等育成促進費等 78,880 千円

第 6 章 効用

効 果 項 目	年総効果額(千円)
作物生産効果	17,639
営農経費節減効果	20,777
維持管理費節減効果	△234
景観・環境保全効果	—
国産農産物安定供給効果 その他効果	3,427
合 計	41,609

総費用総便益比 1.20 > 1.00

第 7 章 他の事業との関係 該 当 な し

第 8 章 計画概要図 別 添 の と お り

別 紙

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

１．総事業費 ７２８，８８０千円

内訳 農業生産基盤整備事業費 ６５０，０００千円

農業経営高度化支援事業費 ７８，８８０千円

２．事業費の負担区分の予定

事業名	事業費 (千円)	負担区分 (%)				負担区分の予定額 (千円)			
		国	県	市	地元	国	県	市	地 元
農業生産基盤整備事業	650,000	50.0	27.5	11.0	11.5	325,000	178,750	71,500	74,750
農業経営高度化支援事業 (高度土地利用調整事業)	78,880 (630) (3,500)	50.0 50.0	50.0			39,440 (315) (1,750)	37,690 (315)		1,750 (1,750)
(農業経営高度化促進事業)	(74,750)	50.0	50.0			(37,375)	(37,375)		
計	728,880					364,440	216,440	71,500	76,500

３．地元負担の予定基準

砺波市土地改良区定款の定めるところにより、当該土地改良事業に係る土地につき地積割に賦課する。

４．分担金を負担する土地改良区

砺波市土地改良区において分担金を負担する。